

# 林業安全コラム

快適な職場に響く合言葉  
「健康・安全・ゼロ災害」  
(2017年 労働安全衛生年間標語[スローガン])

## ○ 林業労働災害発生状況について

### ○平成28年の労働災害発生状況

平成28年の労働災害発生状況（確定値）が公表されました。

平成28年は、労働災害による死亡者数（全産業）は928人（27年：972人、44人減少）で前年を下回り、2年連続で過去最少となりましたが、依然として多くの労働者の命が失われています。また、死傷者数（休業4日以上）は前年を上回り、117,910人（27年：116,311人、1,599人増加）となっています。

### 平成28年における死亡災害発生状況（確定）

業種	平成28年 (1月～12月)		平成27年 (1月～12月)		平成26年 (1月～12月)		対27年比較		対26年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	928	100.0	972	100.0	1,057	100.0	-44	-4.5	-129	-12.2
建設業	294	31.7	327	33.6	377	35.7	-33	-10.1	-83	-22.0
林業	41	4.4	38	3.9	42	4.0	3	7.9	-1	-2.4
農業、畜産・水産業	36	3.9	34	3.5	32	3.0	2	5.9	4	12.5

資料：厚生労働省「平成28年における労働災害発生状況（確定）」

林業における平成28年の労働災害発生状況は、死亡者数は41名となっており、前年に比べ3名の増加となっています。一方、死傷者数（同）は1,561名で、前年より58名減少しました。

### 平成28年における死傷災害発生状況 (死亡災害及び休業4日以上の死傷災害)（確定）

業種	平成28年(1月～12月)		平成27年(1月～12月)		対27年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	117,910	100.0	116,311	100.0	1,599	1.4
建設業	15,058	12.8	15,584	13.4	-526	-3.4
林業	1,561	1.3	1,619	1.4	-58	-3.6
農業、畜産・水産業	2,770	2.3	2,775	2.4	-5	-0.2

資料：厚生労働省「平成28年における労働災害発生状況（確定）」

また、労働者1,000人当たり1年間に発生する死傷者数を表す「死傷年千人率」は、全産業平均と比較して、依然として高い数値となっています。

### 業種別死傷年千人率(休業4日以上)

	全産業	製造業	鉱業	建設業	運輸業	林業	商業	金融業	通信・郵便業	教育研究業	保健衛生業	接客娯楽業	農業	漁業
平成27年	2.2	2.8	7.0	4.6	6.3	27.0	1.9	0.7	3.2	0.3	1.5	2.3	5.2	8.0
平成28年	2.2	2.7	9.2	4.5	6.3	31.2	1.9	0.7	3.6	0.3	1.5	2.2	5.1	8.9

資料：厚生労働省「労働者死傷病報告」、総務省「労働力調査」

注：年千人率とは、労働者1,000人あたり1年間に発生する死傷者数を示すもの。

### ○平成29年の労働災害発生状況

平成29年の労働災害発生状況（5月速報）が公表されました。

平成29年1月～4月の労働災害による死亡者数（全産業）は259人で（28年1月～4月：250人、9人増加）で前年を上回っています。また、死傷者数（休業4日以上）も前年を上回り、27,836人（28年1月～4月：27,488人、348人増加）となっています。

平成29年における死亡災害発生状況（速報）（平成29年5月8日現在）

業種	平成29年 (1月～4月)		平成28年 (1月～4月)		平成27年 (1月～4月)		対28年比較		対27年比較	
	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全産業	259	100.0	250	100.0	232	100.0	9	3.6	27	11.6
建設業	79	30.5	82	32.8	83	35.8	-3	-3.7	-4	-4.8
林業	15	5.8	10	4.0	10	4.3	5	50.0	5	50.0
農業、畜産・水産業	11	4.2	9	3.6	6	2.6	2	22.2	5	83.3

資料：厚生労働省「平成29年における労働災害発生状況（速報）」

林業における平成29年1月～4月の労働災害発生状況は、死亡者数は15名となっており、前年同期と比較して5名増加しています。一方、死傷者数（休業4日以上）は369人となっており、前年同期と比較して77名減少しました。

平成29年における死傷災害発生状況  
(死亡災害及び休業4日以上之死傷災害)（速報）

(平成29年5月8日現在)

業種	平成29年(1月～4月)		平成28年(1月～4月)		対28年比較	
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数(人)	増減率 (%)
全産業	27,836	100.0	27,488	100.0	348	1.3
建設業	3,578	12.9	3,620	13.2	-42	-1.2
林業	369	1.3	446	1.6	-77	-17.3
農業、畜産・水産業	572	2.1	553	2.0	19	3.4

資料：厚生労働省「平成29年における労働災害発生状況（速報）」

このように、林業における労働災害発生状況は、前年同期比で死傷災害が2割近く減少する一方で、死亡災害が昨年を大幅に上回るペースとなっています。引き続き、関係法令を遵守し、安全確認を十分行った上での作業をお願いします。

○ 熱中症による死傷災害の発生状況について

平成28年の「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（確報）が公表されました。平成28年の職場での熱中症による死傷者数（休業4日以上）は462人で前年より2人減少し、そのうち死亡者数は12人で前年より17人減少しました。

林業では、熱中症による死傷者数（同）は13人で前年より5人増加し、そのうち死亡者数は1人（前年は0人）でした。

本年も熱中症による労働災害の発生が懸念されることから、今後本格的に暑くなる時期を迎えるに当たり、日陰等の涼しい休憩場所の確保と休憩時間の十分な確保やこまめな水分・塩分補給、透湿性・通気性の良い服装の着用などの対策を心がけていただくようお願いします。

林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・岐阜県：平成29年6月から平成29年8月末日まで（3か月間）

- 一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。  
<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>
- 林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629